

Paper Arcade Machines

ペーパークラフトモデルNo.11

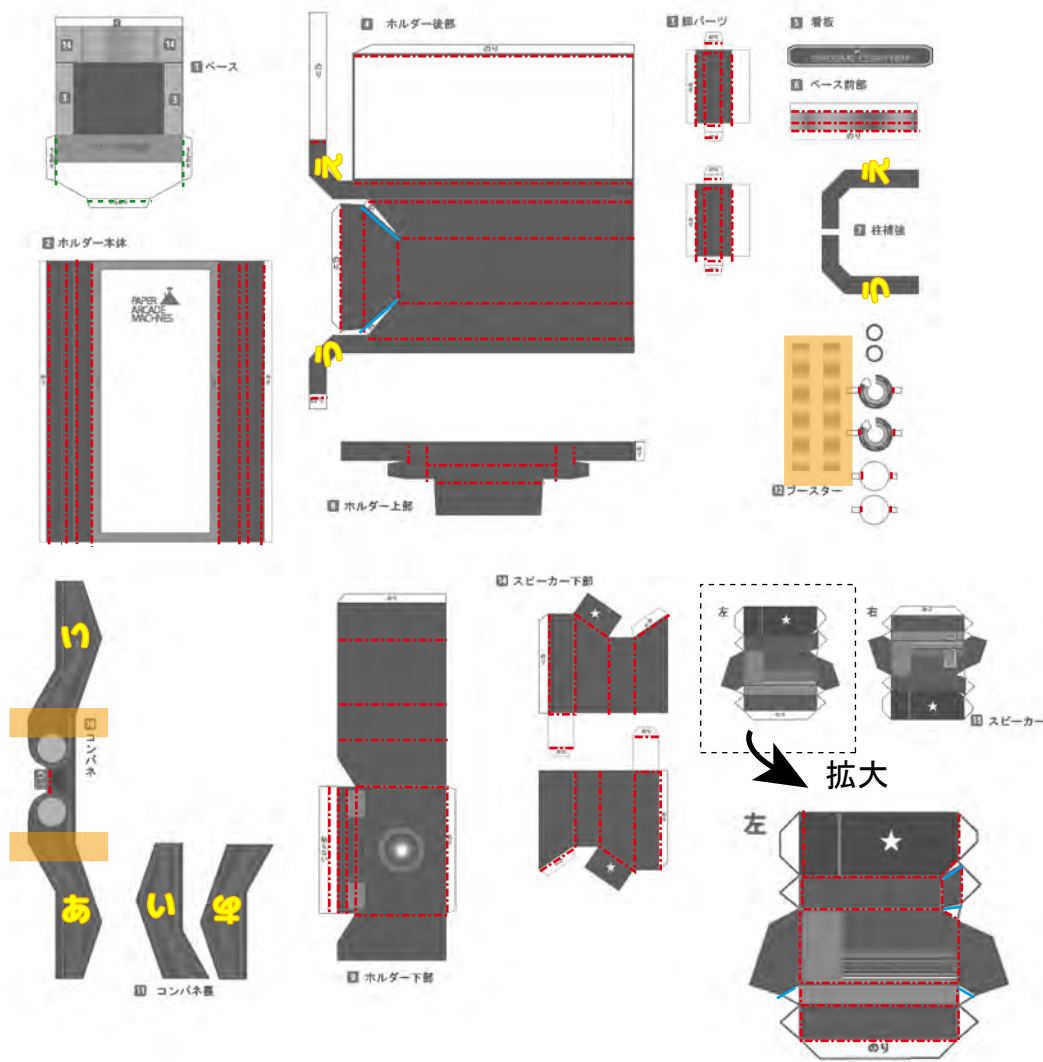
# GRVHolder



音楽ゲーム筐体型スマートフォンホルダーペーパークラフト

制作: 侵略帽子屋 2013 Nov.  
<http://kulucha3.seesaa.net/>

# パーツ説明図



- - - 山折り線
- - - 谷折り線
- 切り込み線
- 折曲げ部
- あ 貼り合わせ

折り線はスタイラスペン・インクの無いボールペン等でけがきをしてから正確に折って下さい。その際、印刷を削らないように注意してください。

コンパネ部の折曲げはうらに細い棒などを当てながら直角にならない程度に折曲げてください。ブラスター周囲パーツは実際よりも長くしてあります。鉛筆よりも太い丸いものに巻いてくせをつけて下さい。

貼りあわせ部分はあらかじめ貼って乾かしておきます。表と裏でずれないように注意しましょう。もしずれてしまったら乾いてから表にあわせて再度カッターで切ると仕上がりが綺麗です。

## ご用意いただくもの

- ◎ LEGOブロック 2×7×4段 又は大きな消しゴム (6×4×1.5cm) などある程度の重さのある直方体 ※

## 必要な道具

- カッターとカッター台
- 木工用ボンド
- 定規
- スタイラスペン 又はインクの出なくなったボールペン等
- 丸めるための棒

## あると便利な道具

- ◎ 5mm幅の両面テープ
- ◎ 筆ペン
- ピンセット
- ペーパーセメント
- 円定規

## ※ブロックについて

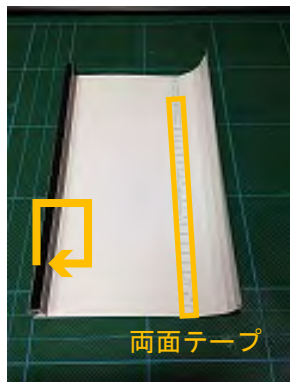
スマートフォンの土台にしますのである程度の重さが必要です。完全に見えなくなってしまうのでブロックの色はなんでもかまいません。2×7のブロックは手に入りにくいので2×3と2×4のブロックを各4個ずつ組み合わせるのがオススメです。消しゴムの場合はブロックより重さが出ますので完成体を持ち上げる時に注意が必要です。どちらも用意出来ない場合は厚紙で6\*4\*1.5cmの直方体を作っていただいても構いませんがひっくり返りやすくなります。



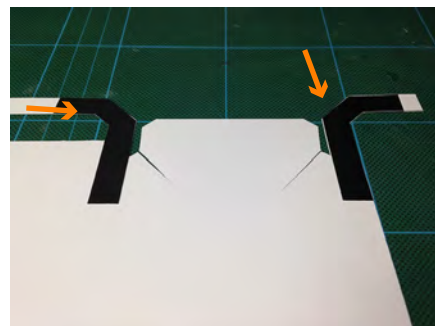
**1** ホルダー本体を組み立てます。ベースはのりしろを谷折りし垂直に立て、まだのりはつけないでおきます。本体はロゴが入っている面が裏側になります。ここは全面のり付けしてしまうのでロゴは見えなくなります。



**2** 本体を裏返し黒い部分がへりの状態になるように四角く折り曲げます。一番内側の折り線にあわせて貼り付けます。この時両面テープを使うとのりの水分で歪まずきれいですがボンドでもかまいません。



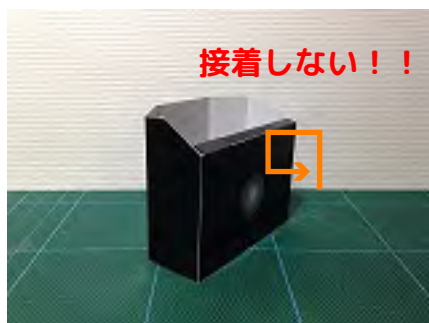
**3** 看板の支柱の裏側にはあらかじめ補強紙を貼って乾かしておきます。紙の貼りあわせはあればペーパーセメントを使います。微妙なズレで白く見える箇所は筆ペンで塗っておくと仕上がりに差がでます。



**4** 折り線通りにおり、本体（裏）を組み立てます。看板裏になる部分は四角く輪の状態になるように接着します



**5** ホルダー下部も折り線通りに折ります。全面は本体同様に四角に折りますが、ここは接着しませんの注意してください。前面側、底にあたるのりしろは内側に折ります。実際の線よりもほんの少しだけ上よりに折ると浮きません。



**6** ベースにホルダー下部を六角形の形がぴったりあうように接着します。のりしろがぴったりくっついていないと後で本体を挿した時にひっかって下までさせなくなります。ピンセットを使ったり、倒して定規を差し込んで圧着します。



**7** ホルダー本体と本体裏を接着します。それぞれの白い側同士がつくように張り合わせます。ここでも両面テープが便利です。ボンドの場合も全面には塗り広げず、フチだけに塗るほうが歪みません。



**8** ベースにホルダーを差し込みます。本体と土台の隙間にブロックを入れスピーカー上部は斜めに角度を付けます。再度注意しますが、ここは接着しません。



ブロックを入れスピーカー上部は斜めに角度を付けます。再度注意しますが、ここは接着しません。

スマホをさした時にそれぞれの厚みに合わせたクッションの役割をします。



**9** ホルダー上部を組み立てます。折り線どおりに折曲げ四角い輪の状態にし、上からかぶせるようにして接着します。左右と後は差し込み用に長くなっています。後はホルダーと置いたスマートフォンの間、左右はへりの穴の中に差し込みます。





**10** コンパネ部分もホルダーの看板支柱を同様に裏と表を貼りあわせて乾かしておきます。裏紙のない部分との境界線に丸い棒を置いて角が出ないように曲げます。イヤホンジャック部を折り曲げます。



**11** ブースター周辺用のパーツは長めにしてあるので直径 1.6cm の円に丸め貼った後、不要な部分は切ります。白い円を内側から押しこむように貼ります。円定規の 1.6cm に合わせると綺麗な筒になります。



**12** ブースター上部は円すい形に接着した後、多めにボンドをつけて上面部分をつけてボタン部分を貼り付けます。のりしろはありません。



コンパネに貼り付けます。裏側は透かして真下になるようにします。



**13** ベースに三角柱にした前部、脚パーツ、スピーカー下部を貼り付けます。奥から隙間なく3つのパーツの側面も貼り付けます。(写真は番号がありますが、実際には★が印刷されています)



**14** スピーカーを組み立てます。変形五角柱の1つの角を落とした形をイメージして組み立ててください。



最後に側面でフタをするようにしてのりづけします。細かいのでピンセットがあると便利です。ネシカポートの絵がある方が右でない方が左になります。

**15** スピーカー下部にスピーカーを乗せます。左右を間違えないように注意します。★と★がくっつくように、またスピーカー上のラインが下部の上端と揃うようにして貼ります。



**16** 左右のスピーカーを付けた状態で内側に傾いていないかチェックします。スピーカーの側面と柱の側面が一直線になるようにします。



**17** スピーカー下部の直線とコンパネの全面ラインをあわせませす。スピーカー側面とコンパネを貼り付け、コンパネを土台にとりつけます。ここはボンドでなく両面テープがオススメです。スピーカーは前後にはみ出します。



**18** 最後に看板を柱の中心になるように貼り、完成です。黒い筐体なので折り曲げ線が白く目立つ所は筆ペン(油性ペンは避ける)で塗るとキリッと引き締まります。

